

関西の活かしたい自然エリア(16 北摂・南丹)エコツアー

「関西の活かしたい自然エリア」の保全・活用のため、複数の府県域をまたいだ自然エリアを対象として、エコツアーを実施した。

1 エコツアーの目的

自然エリアについて、広域連合の特徴を活かし、保全・活用を進めるためのモデルとなる取り組みを実施する。複数の府県域をまたいだ自然エリア（北摂・南丹）を対象として、生物多様性や自然の恵みの重要性、自然と人の営み（歴史、文化）等の気づきを目的としたエコツアーを行い、自然エリアが行政や活動団体、旅行会社等に活用されるための足掛かりとする。

2 参加者等

- ・参加者は、検討委員、自治体、旅行業関係、企業の計 17 名。
- ・エコツアーの移動方法はバス貸切り。
- ・エコツアーは、各場所において有識者や保全活動実施者に解説していただく。

3 概要

1) ルートの概要

- ・自然エリア 16 北摂・南丹を巡るルートとする（下図参照）。



2) ルートの立ち寄り先・所要時間

■自然観察ツアーのルート及び所要時間等（午前9時～午後5時40分）

目的地等	所在地	着時間	発時間	備考
起点(JR 新大阪駅)			9:00	
一庫公園	兵庫県川西市 国崎字知明	9:50	10:30	里山の自然環境と炭作り文化の全体説明
黒川	兵庫県川西市 黒川	10:40	11:40	黒川のモザイク景観の解説 徳林寺付近の台場くぬぎと炭窯 クヌギ植樹場所の解説
野間の大ケヤキ	大阪府豊能郡 能勢町野間	11:45	11:50	国指定天然記念物の解説
昼食(みちくさ能勢)	大阪府豊能郡 能勢町地黄	12:00	13:10	前菜、サラダのビュッフェスタイル、8種類の menu から選ぶ石窯ピザ、旬のとれたて能勢野菜の石窯料理等が食べ放題 2,160 円
銀寄(栗)栽培	大阪府豊能郡 能勢町倉垣	13:20	14:30	伝統的に里山で栽培されてきた銀寄(栗)の栽培と生物多様性との関連
黒川(妙見山)	兵庫県川西市 黒川	14:40	16:40	ケーブル、リフトにより黒川駅から妙見山へ移動、ふれあい広場にて妙見山での取組の説明、妙見山にて妙見山のブナ林保全活動の説明
終点(JR 新大阪駅)		17:40		

3) 実施日

9月24日(日)

4) テーマ

- ・今回のエコツアーのテーマは「里山と人のかかわり」
- ・里山の自然環境と人の営み、文化、伝統について理解を深める。

4 エコツアーの様子

1) 一庫公園

北摂地域の里山の自然環境と炭作り文化の全体説明。

この地域で生産された炭は菊炭（池田炭）と呼ばれ、茶の湯に用いる炭として京都などに出荷されていた。



ネイチャーセンターでの里山と菊炭の解説



一庫公園の炭窯にて、炭焼きの解説

2) 黒川

モザイク景観※の解説、徳林寺付近の台場くぬぎ※と炭窯跡、クヌギ植樹場所の解説。



モザイク景観の解説



黒川の炭窯跡



黒川の台場クヌギについて解説



黒川のクヌギ植樹場所にて解説

※モザイク景観：森林、農地、草地などあるいはいくつかの異なる段階、種類の森林がモザイク状に分布している景観。

※台場クヌギ：クヌギを地上から 1～2 メートルの高さで伐採し、新たに生えた幹を切って炭づくりなどに利用した結果、木の下部が土台ようになったクヌギのこと。

3) 野間の大ケヤキ

国指定天然記念物の野間の大ケヤキについて解説。



野間の大ケヤキ

4) 昼食（みちくさ能勢）

前菜、サラダのビュッフェスタイル、8種類の menu から選ぶ石窯ピザ、旬のとれたて能勢野菜の石窯料理等が食べ放題 2,160 円



石窯ピザ



農家民宿「みちくさ能勢」の外観

5) 銀寄（栗）栽培

能勢町倉垣の栗林にて、栗栽培の解説。栗林として維持管理することによる生物多様性の保全について解説。



銀寄の栗林



銀寄 LL サイズのもの

6) 黒川（妙見山）

妙見山での森林保全、エドヒガン（川西市天然記念物）保全活動について解説。

また妙見山の頂上付近のブナ林を訪問。ブナ林を守る取り組みについて解説。ブナなどの巨木の解説、ブナ苗の植栽、防鹿柵の設置、ブナの実生や結実等の調査などの取り組みについて説明があった。



ブナ林の様子



ブナ林内の様子



アカガシ巨木と参加者

5 各訪問地の概要

【訪問地： 一庫（ひとくら）ダム】

1. 一庫ダム

一庫ダムが建設された猪名川は、淀川から枝分れしている神崎川に流れ込む河川で、淀川水系に属しています。この猪名川の下流地域は戦後、経済の成長によって関西の中心地として急激な発展を遂げ、水不足が深刻な問題となりました。また、猪名川は、たびたび大洪水があり、そのたびに沿岸の人たちは大きな被害をこうむってきました。そこで、洪水調節機能をもった利水ダムとして1987年に竣工しました。

2. 兵庫県県立一庫公園

県立一庫公園は一庫ダムの湖水面に突き出た緑豊かな半島「知明山」にあります。このあたり一帯は近畿圏の近郊緑地保全区域や猪名川溪谷県立自然公園にも指定され、かけがえのない自然環境が残されています。この自然環境を保全し、この環境を活かした利用を進めることを目的に平成10年に開園しました。

本公園は地域の自然や文化を学ぶ場としても位置づけられ、自然と人、さらに人と人との出会いの場として整備されました。

今回は山のゾーンの入り口にある一庫地域の自然や文化を伝える拠点施設

『ネイチャーセンター』を訪れます。このセンターには一庫炭（別名、菊炭）の展示があり、地域の伝統文化を学ぶことができます。さらに近傍には現役の炭窯があり、冬季には炭焼き体験が行われています。



センター傍の炭窯



センター内の菊炭展示

引用・参考サイト

一庫ダム管理署： <http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>

兵庫県立一庫公園： <http://www.hyogo-park.or.jp/hitokura/>

【訪問地：黒川地区】

1. 黒川地区の特徴

市の最北部、黒川地区周辺は、昔ながらの懐かしい風景が広がる日本一とも言われる里山です。伝統の炭焼き（一庫炭）が守り続けられ、県のレッドデータブックで貴重な植物群落に指定されるエドヒガン（サクラ）の群落がみられます。昔はほとんどの家で炭を焼き、池田市へ牛車などで運んでいました。生活のスタイルが変わり、炭を使わなくなり、今は黒川地区では1軒だけになりました。そのほか、北摂栗や原木シイタケなどの林産物、山に囲まれた土地で米や黒豆、野菜などを作っています。黒川が日本一の里山と称されるのは・・・



- 全国的に貴重な今でも利用されている里山である（文化性）
- モザイク状の昔の里山景観が見られる（景観性）
- 平安時代までさかのぼれる（歴史性）
- カブトムシやクワガタムシ、チョウなどが生息する（生物多様性）

など多くの特徴を持っているためです。（広報かわにし H20 年 3 月 第 1208 号より）

2. 一庫炭（別名、菊炭）

一庫炭は古くから市内北部の一庫以北で生産されてきた炭の名称です。切り口が菊の花のように見えることから、別名菊炭と呼ばれ、茶席などに用いる極上の切炭として知られています。生産地から池田に運ばれた後、各地へ出荷されたため、生産地より集積地名が通称（池田炭）になりました。初めて文献にその名が現れたのは正保2年（1645年）に発刊された「毛吹草」です。「一庫炭…此所より池田の市に出て売なり故に是を池田炭共云」と記されています。また、久安寺（池田市）の記録に、文禄4年（1595年）に豊臣秀吉が同寺で観月の茶会を開いたときに池田炭を賞用したことが記されていたといわれ、歴史の古さを物語っています。（川西市史2・3巻より）

3. 地域の活動

「過疎の地域を元気づけ、みんなで考えて活性化すること」が課題で、黒川公民館に事務局を置き、平成18年に黒川まちづくり推進協議会を設立し、「黒川里山まつり」を主催しています。この他に菊炭受講生が集まり平成17年に結成された「菊炭友の会」による黒川桜の森の整備や川西里山クラブによる里山の保全活動などが行われています。



【訪問地：倉垣地区】

1. 能勢町の栗

世界では、くりは、日本ぐり、中国ぐり、ヨーロッパぐり、およびアメリカぐりの4種が栽培・利用されています。日本で栽培されているくりは、主に山野に自生している「しばぐり」から改良されたものです。能勢ぐり栽培の歴史は古く、文禄年間（1592年～1595年）に米の代わりにくりが食用に供されたという記録があり、今から約400年前にはすでに栽培されていました。「能勢ぐり」の名で親しまれている大阪府豊能地域のくりは、現在、能勢町、豊能町、箕面市（止々呂美地区）等で約200ha栽培されています。最も代表的な品種は「銀寄」で、栽培面積の約80%を占めています。

2. 銀寄（栗）と倉垣地区

江戸時代中期の宝暦3年(1753年)、歌垣村倉垣（現能勢町倉垣）の人が広島から持ち帰ったくりを植えたところ、そのうちの一本がとても良い実をつけたので、この樹を近隣に増殖させました。そして天明・寛政（1781年～1800年）の頃、歌垣村で大干ばつがあり、村人がこのくりを丹波国亀山に出荷したところ、多くの銀札（当時のお金）を得ることができました。以来、「銀を寄せる」という意味で「銀寄」と呼ばれるようになったといわれています。

3. 能勢ぐりの現在

昭和40年代には、集出荷場、選果機や選果場、冷蔵貯蔵庫等の施設が作られ、流通面が大いに改善されました。また、くり拾いのような観光農業が行われるようにもなりました。様々な害虫の発生による危機を乗り越え、平成5年(1993年)には、大阪府が取り組んでいるなにわ特産品育成事業で、特産「能勢ぐり」は「なにわ特産品」に選定されました。そして平成12年(2000年)5月1日、能勢町に能勢町観光物産センター「道の駅 能勢くりの郷」がオープンし、生産者自らによる直販が好評で、販売実績は年々右肩上がりとなっています。最近では、銀寄を中心とする能勢ぐりはマスコミやデパートの特売コーナー等で広く取り上げられ、多くの人に楽しまれています。(能勢ぐり物語 くりア・ラ・かると改訂版 より)

4. 栗林が創る生物多様性

江戸時代から続く栗林は、これまでと違った角度で注目されています。それはくり栽培地として維持されてきたことで、里山に生育、生息する動植物が守られてきたというものです。栗の維持と収穫作業のために定期的に草刈りが行われてきました。これにより様々な植物が光を得て生育できる場所を得ています。また、それら植物や栗の花の蜜や花粉を食べ物としている昆虫類が育まれています。虫媒花が必要となる果樹や野菜は多く、人の暮らしにとって生きものたちの良いバランスが維持されているのかもしれません。



【訪問地：妙見山】

1. 妙見山の歴史

その昔、妙見山がまだ為楽山と呼ばれていた頃、星の王様がこの山に降りてきたという言い伝えがあります。時は天平勝宝年中（750年頃）。村人達は行基菩薩に請い、その山頂に北辰星をお祀りしたのが当地の北極星信仰の始まりと伝えられます。時は流れ1603年、豪族である能勢氏の家鎮として古くから祀られてきた妙見大菩薩を法華勧請し法華経のご守護神として祀り、能勢妙見山がはじまりました。

能勢妙見山には鳥居があり「妙見宮」とも呼ばれますが、『日蓮宗霊場能勢妙見山』とあるように、日蓮宗のお寺です。能勢妙見山は、能勢町地黄の眞如寺の飛び地境内となっており、正式には「無漏山眞如寺境外（けいがい）仏堂能勢妙見山」といいます。昔は、神仏習合といい神様と仏様を同じようにお祀りしており、聖域と俗界を隔てるものとして鳥居が建てられました。明治になって、神仏分離(1868年)が行なわれ、居は神社に建てるものと認識されましたが、能勢妙見山は寺院ですが昔の名残で今も鳥居が残っています。



2. 一万年以上前から残る大阪府天然記念物「ブナの原生林」

妙見山の山頂付近には大きなブナの木が幅広く根を張っているのが見られます。一万年前から人の手が入っていないとされるこのブナの原生林は、大阪府自然環境保全地域として指定されています。日本のブナ林は温帯（年平均気温が6～13度C）の代表的な落葉樹で、日本の西南地方では一般に1000メートル以上の山に生育していますが、妙見山のブナ林は660.1メートルと比較的低い山に生育していることで珍しいとされています。

妙見山頂から西南の斜面にかけて周り2メートル以上のものが約100本もあって、中には直径が1.3メートルを越える大阪府下最大級のものも見られます。昭和58年5月2日に大阪府の天然記念物に指定されています。しかし、現在、地球温暖化に伴う気候変化やニホンジカの増加による実生や幼木の食害で、ブナの森、原生林の後継木が育たず継承の危機にあります。

3. ブナの森を次世代へ—能勢妙見山ブナ守の会の取り組み

能勢妙見山の境内には奈良時代より妙見大菩薩が祀られ、古くから聖域であったために守られてきたブナやアカカシの原生林があります。能勢妙見山ブナ守の会は、その環境と文化をみんなの手で次世代につなげていくことを目的としたボランティア団体です。様々なブナの苗木の植栽や防鹿柵の設置、生育調査などを行い、森を守り育てる活動を行っています。



□引用、参考サイト

日連宗霊場 能勢妙見山：<http://www.myoken.org/>

能勢妙見山 ブナ守の会：<http://bunamori.org/>

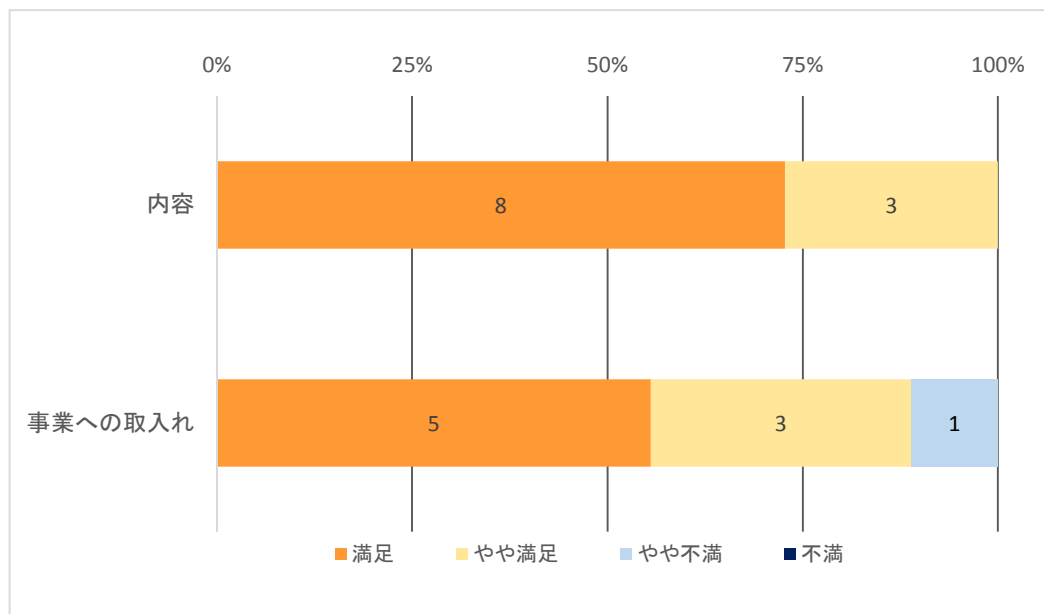
関西の活かしたい自然エリア(北摂・南丹)エクスカーションアンケート結果

設問2 本ツアーで訪問した目的地についてお尋ねします。

一庫公園

滞在時間：40分(9:50－10:30)

内 容：①ネイチャーセンターでの里山と炭作りの解説
②炭焼き窯での解説



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・詳しい説明で菊炭のことなど、地域の歴史がよくわかりました。(旅行業)
- ・地域ならではの炭の作り方が興味深かった。(旅行業)
- ・菊炭の由来、歴史など詳しく教えていただいた。(企業)
- ・ブランド炭の魅力や伝統を受け継ぐことの大切さ、地域での取り組み状況などわかりやすい解説であった。

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・地域の歴史の概要を理解する上での好施設。(活動団体)
- ・炭窯の説明を受けることで、炭のよしあしや、かつての炭焼き文化などを知ることができ、ガイドの必要性および重要性を感じた。(行政)

□「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

□「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・茶道をされている方など、特定の方を対象にすればよいと思う。炭作り体験も合わせて。小学生の校外学習なども。(旅行業)
- ・子ども～大人まで楽しめると思います。(旅行業)
- ・炭焼き体験、お茶炭体験、作法。(企業)

□「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・体験なども同時にできれば参加者はより自然の大切さを学ぶことができる。(行政)

□「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

□「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

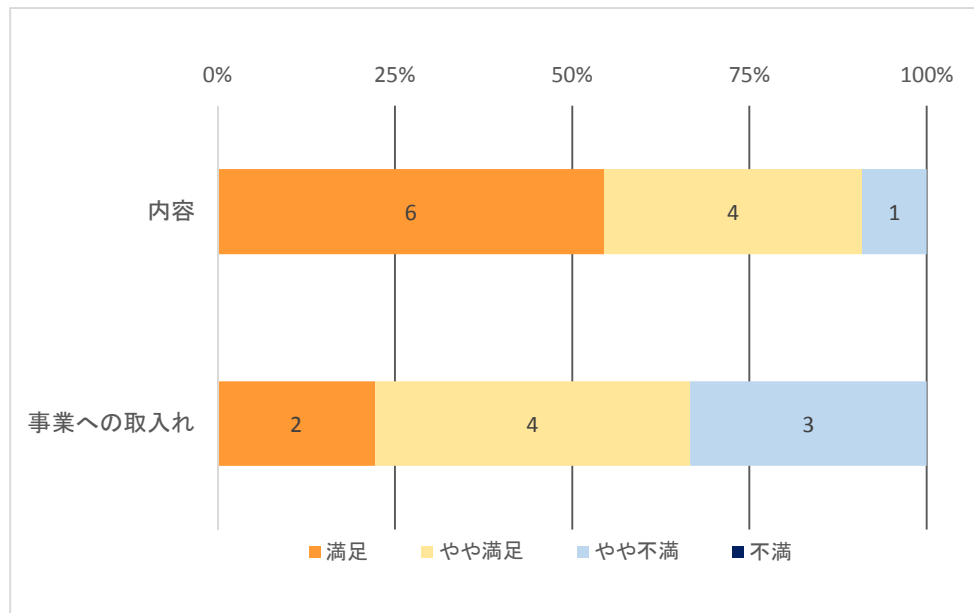
○まとめ

- ・菊炭と歴史、文化のつながりについて詳しい解説があり良かったという回答が多い。
- ・炭焼き、お茶などの体験が加わるとより良いものになる。

黒川

説明時間：60分（10:40・11:40）

内 容：①今西家周辺からモザイク景観の解説
②徳林寺付近の台場くぬぎと炭窯
③クヌギ植樹場所の解説



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・昔の炭がまを見られたこと。（旅行業）
- ・台場くぬぎの解説、人と暮らし。（企業）
- ・地域産業と生物多様性の関連がよく分かる。外来種の管理をどうするかが課題。（活動団体）

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・歩道での見学、説明など、迷惑になっていないか少し気になりました。（旅行業）
- ・道から眺めるのではなく、実際に中に入って見ることであればより良かった。（行政）

□「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・団体は不向き。（旅行業）

□「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

□「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・炭焼きに興味がある方が多いようなので。(旅行業)
- ・里山の保全体験。(企業)

□「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・クヌギに触れる機会や林の中に入る機会があればより魅力的に感じる。(行政)

□「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

- ・景観はとても良かったです、ツアーとなると大勢がゆっくり見学できる感じではないです。(旅行業)

□「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

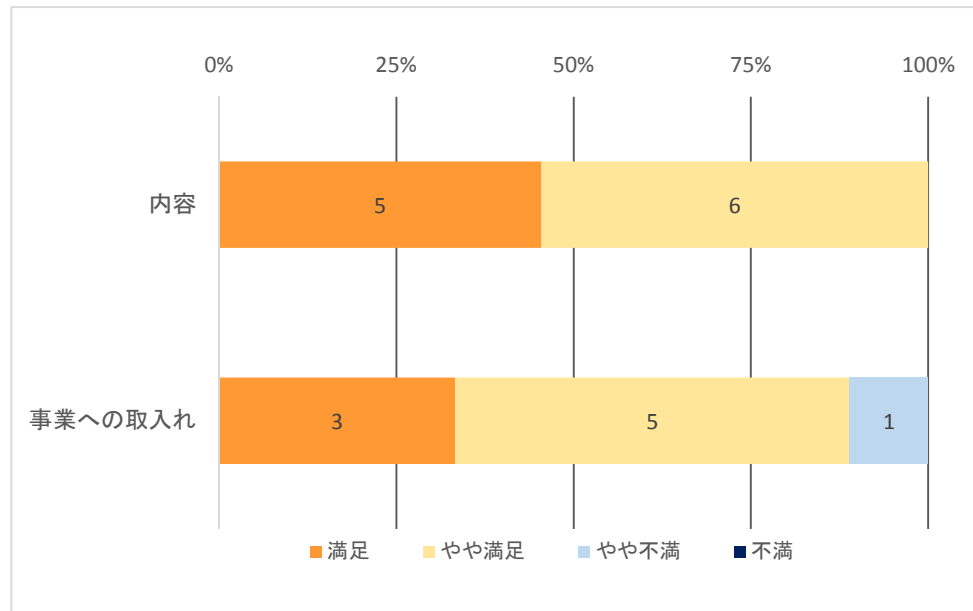
○まとめ

- ・台場クヌギや炭窯跡を見られてよかったが、歩道での見学が気になったという意見が多い。
- ・ツアーとして考えた場合に、解説する場所に留意する必要がある。

昼食（みちくさ能勢）

食事時間：70 分(12:00 - 13:10)

内 容：前菜、サラダのビュッフェスタイル、8 種類の menu から選ぶ石窯ピザ、旬のとれたて能勢野菜の石窯料理等が食べ放題 2,160 円



Q1 体験、見学した内容の満足度

□ 「満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 里山ならではの趣があり、石釜ピザも大変美味しかったです。(旅行業)
- ・ 野菜の味がしっかり味わえ、その場所の印象が残った。(行政)

□ 「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ 穴場的な食事場所。(旅行業)
- ・ 少し慌ただしかった。(旅行業)
- ・ 美味しかった (企業)
- ・ 地産地消であることに魅力を感じる。多少値段が高くても、参加者は地のものを食してみたいと思う。(行政)

□ 「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□ 「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

☐ 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・団体、グループには不向き。(旅行業)
- ・少人数なら。(旅行業)

☐ 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・子ども連れのツアーには不向き。駐車場から歩く、buffetが同室にない。(旅行業)
- ・里山の暮らし。(企業)
- ・料理の説明(材料がどのように栽培された等)をしていただけると食も学びの場になると感じた。(行政)

☐ 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

☐ 「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

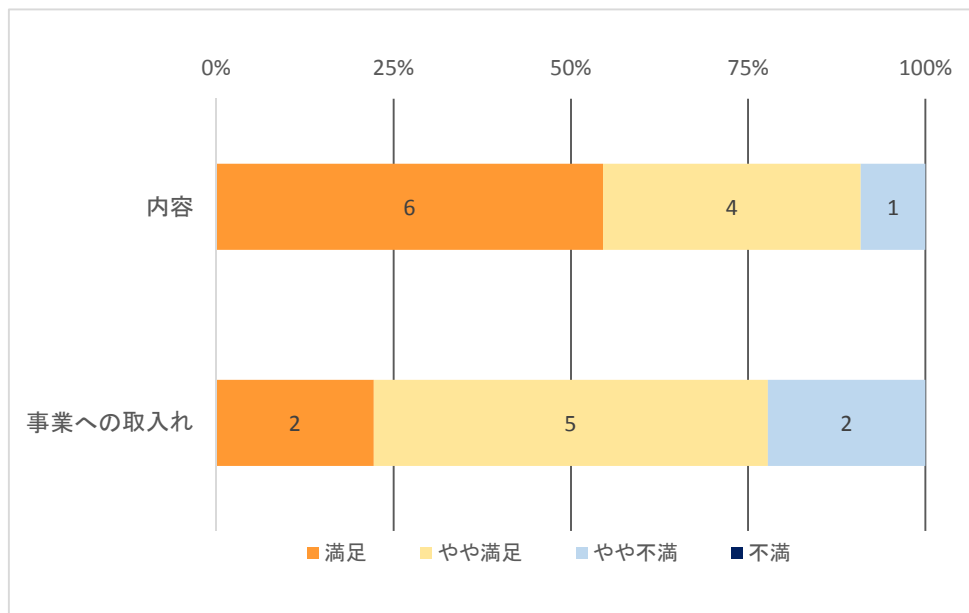
○まとめ

- ・里山の雰囲気や地産地消である点などが評価された。
- ・一方で、アクセスの悪さや団体向きでないという意見も多い。

銀寄（栗）栽培

滞在時間：70 分（13:20 - 14:30）

内 容：倉垣天満宮周辺、津村屋栗園、伝統的に里山で栽培されてきた銀寄の栽培と生物多様性との関連について



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・銀寄を見たことがなかったため、大きさに驚いた。（旅行業）
- ・生物多様性との関わりが興味深い。（企業）
- ・和菓子会社の方が栗栽培に取り組まれているのが興味深かった。（行政）
- ・地域ブランドの特色や課題が明確で分かりやすい。（行政）

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・収穫もしてみたかったです。（旅行業）
- ・地域産業と生物多様性の関連がよく分かる。外来種の管理をどうするかが課題。（活動団体）
- ・実際に栗を育てている方から話を聞くことができたことに価値があったと思う。育成のための工夫や苦労はパンフレットからは読み取ることができない。（行政）

□「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・体験があれば良い。（旅行業）

□「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

□「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・収穫や手入れ等を体験に組み込む等。(旅行業)

□「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・栗拾いできれば良い。(旅行業)
- ・お話を聴くだけでなく、栗の収穫など体験があれば。銀寄栗で作ったお菓子を頂くなど。(旅行業)
- ・栗が非常においしそうで、食べる機会があれば銀寄の魅力がより伝えられる。(行政)

□「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

□「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

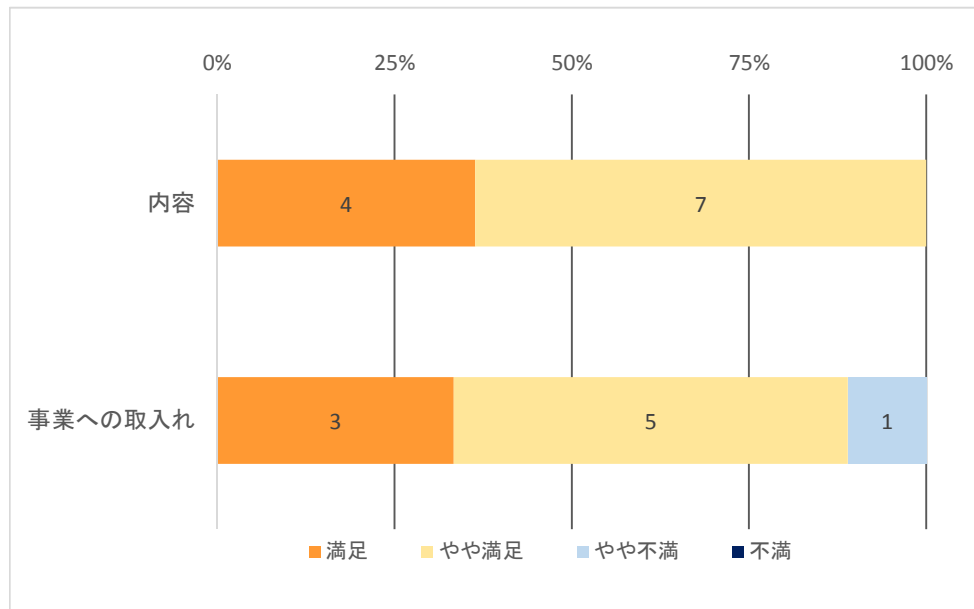
○まとめ

- ・地域産業と生物多様性との関わりについて、関心を持ったという意見があった。
- ・実際に栗拾いや栗栽培の体験などを加えられるとより良い内容となる。
- ・ただし、通常立ち入れる場所ではなく、解説者も特別にお願いできたものであり、ツアーとして利用することには課題が多い。

妙見山ケーブル・リフト

滞在時間：55分（14:40 - 15:20）

内 容：ケーブル、リフトにより黒川駅から妙見山へ移動



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・少し長かったですけど気持ちよかったです。（旅行業）
- ・景色もきれいで気候もよく、気持ち良かった。（旅行業）

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・観光ツールに良い。（旅行業）
- ・リフト下がよく整備されている。（企業）
- ・歩きながらガイドの方から説明を受けるコースもあっていいと感じた。（行政）

□「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

☐ 「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・子どもから大人まで楽しめると思う。(旅行業)

☐ 「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ケーブル本数が少ない。(旅行業)
- ・ケーブルに乗る際には、きれいな景色をみて終わってしまったが、事前に獣害の様子などを説明していただけると違った視点から木々を見ることができたと思う。(行政)

☐ 「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

☐ 「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

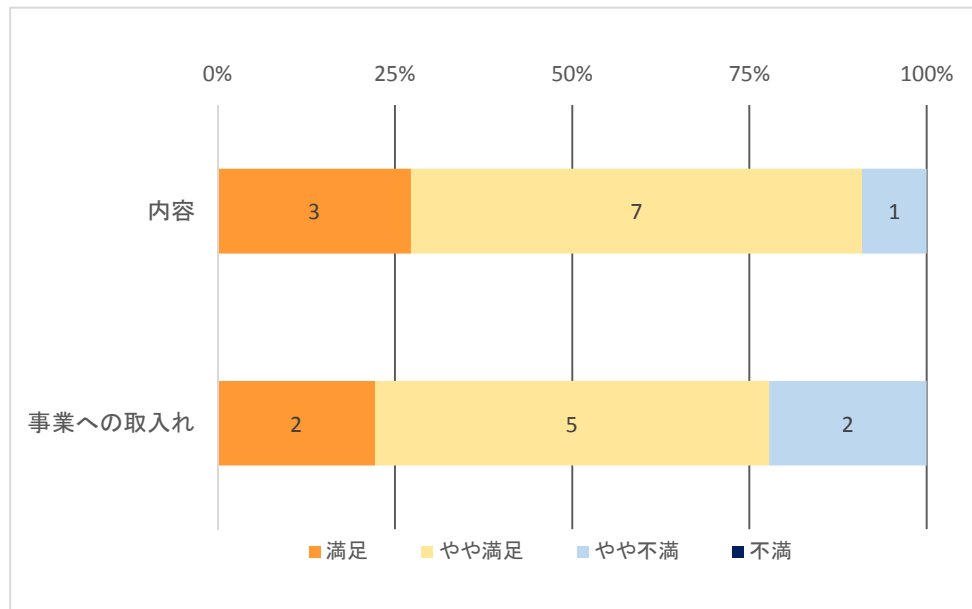
○まとめ

- ・利用しやすい点が評価された。

ふれあい広場

説明時間：15 分（15:05 - 15:20）

内 容：ふれあい広場にて妙見山での取組の説明



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・エドヒガンなどの NPO 活動をもう少し聞きたかった。（企業）

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・観光ツールに良い。（旅行業）
- ・保全活動の若手への引き継ぎをどうするのかは、どの団体でも課題。（活動団体）
- ・エドヒガンザクラの谷間で降りていければより印象に残ると感じた。また花などは季節性もあるので、通年で行うよりも、時期を限定するほうが効果的と感じた。（行政）

□「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

□「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可能性について

□「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・子ども～大人まで楽しめると思います。(旅行業)
- ・里山林の植樹、草刈、間伐体験。(企業)

□「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・お客さんは桜の木に関しては咲いている様子をぜひ見たいと思う。写真等でも様子を見せていただけるとよかったと感じた。(行政)

□「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

□「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

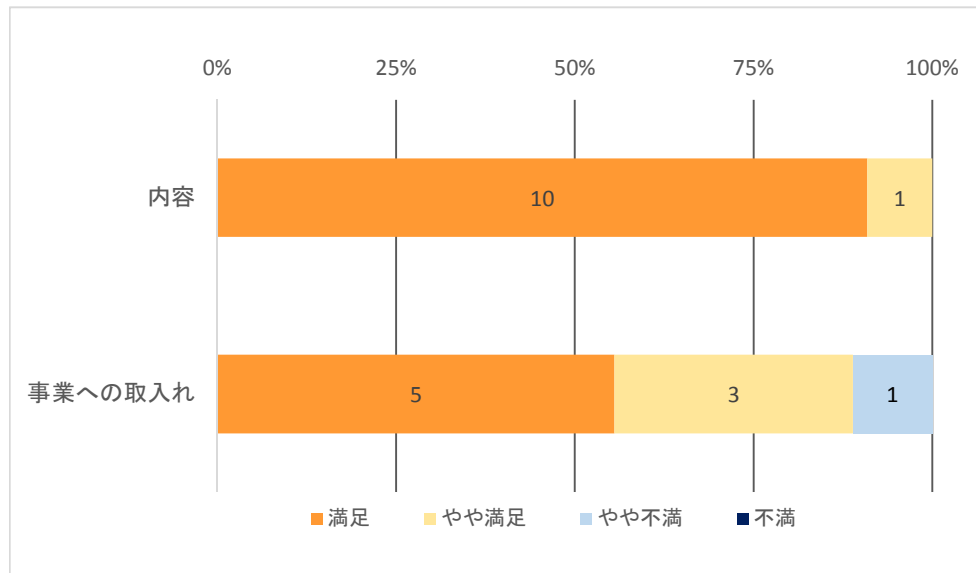
○まとめ

- ・ケーブルと同じく、利用しやすい点が評価された。
- ・桜の開花時期に訪れたいという意見が多い。

妙見山ブナ林

体験時間：60分（15:40－16:40）

内 容：妙見山にて妙見山のブナ林保全活動の説明



Q1 体験、見学した内容の満足度

□「満足」と回答した方の理由・意見

- ・思った以上に良い。(旅行業)
- ・観光旅行では入ることのできない保護ゾーンに入れたこと。(旅行業)
- ・詳しい解説、日頃見ることができない巨樹に感動した。(企業)
- ・ブナ、アカガシの巨木は圧巻。下層植生欠如による土壌浸食・外来種対策が課題。(保全団体)
- ・木々を間近で見て、触れることができたことがよかった。その大きさに圧倒された。(行政)
- ・これほど大きなブナの木はなかなか見られないので、見ることで良かった。(行政)

□「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・高い木が多いので、通常の山の中と違いすごく居心地が良かったです。何か神聖な気持ちになりました。(旅行業)

□「やや不満」と回答した方の意見

なし

□「不満」と回答した方の意見

なし

Q2 事業、旅行商品等への取り入れの可

□「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ご住職の案内がありよかった。(旅行業)
- ・ECO や自然保護に興味がある方に良いと思います。(旅行業)
- ・普段人が入っていない森を見せていただき、非常に価値のある体験ができたと思う。公開することで、人が興味を持ち保全活動にもつながると思う。(行政)

□「やや取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・工夫次第。(旅行業)

□「あまり取り入れたくない」と回答した方の理由・意見

なし

□「取り入れない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・内容に関しては、満足と答えた方がほとんどで評価されていた。
- ・普段見ることができないという特別感が評価されているが、通常は立入りできず、解説も特別な場合に限られる。
- ・ツアーとしては、特別感、非日常といった視点が重要であるが、保全活動地であり、保全と活用を両立することについて課題が多い。

設問3 本エクスカッションで良かった内容とその理由をご記入ください。

◆プログラム

- ・苦労されたコースで非常に為になりました(旅行業)
- ・菊炭がとても興味深かったです。一度使ってみたいと思いました。(旅行業)
- ・ハイキング程度で素晴らしい自然環境に出会える。身近な生物多様性、生態系サービスを知ってもらえる。(活動団体)
- ・銀寄栗やブナ守の会など、実際に活動を行っている方のお話をその場所で聞くことができて良かった。(行政)

◆解説者

- ・解説者が良かった。各々質問する時間がほしい。(企業)
- ・ガイドにわかりやすく説明していただき、ただ楽しいだけでなく、学ぶ要素がおおくあるツアーであったことがよかったと思う。ちょっとした風景も、知識のあることがある方が説明することで観光地へ変わると感じた。(行政)

◆北摂・南丹の豊かな自然

- ・近場であるが自然が深い。(旅行業)
- ・黒川の景観もとても趣きがあり、季節がかわればまた違った顔を見せてくれるんだろ
うなあと、ぜひまた再訪したいと思いました。次は今西さんの炭窯から煙があがって
いる風景を見てみたいです。(旅行業)
- ・北摂の自然や里山を全体的に知ることができて良かった。(行政)

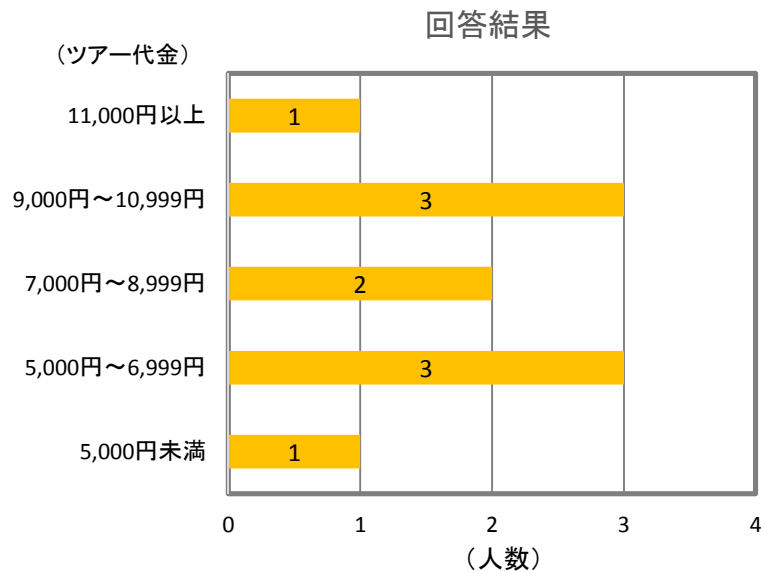
◆その他

- ・このくらいの参加人数が話も聞きやすく良いと思いました。(旅行業)
- ・地域産業と生物多様性の関係を再認識でき、本会での活動で常々問題視してきたことが間違いで無かったことが確認出来たこと。(活動団体)

○まとめ

- ・プログラムの内容や解説者、北摂地域の自然が良かったという意見が多い。

設問4 本エクスカーションが一般の旅行であった場合、ツアー代金はいくらだったら参加しますか(新大阪駅発着)。



※1 今回の参加人数 17名でツアーを実施する場合の1人当たりの負担額
(バス代、高速代、駐車場代、食事代、ケーブル・リフト代、保険料) ÷ 17名
≒ 8,500 円

※2 バスの定員(正規シートのみ) 22名でツアーを実施する場合の1人当たりの負担額
(バス代、高速代、駐車場代、食事代、ケーブル・リフト代、保険料) ÷ 22名
≒ 7,200 円

○まとめ

- ・4,000 円～22,000 円まで幅広い回答結果が得られた。
- ・5,000 円～10,000 円の回答が多かった。今回のツアーの必要経費を参加者で均等に負担してもらう場合、1人当たりの負担額は約 8,500 円であり、利益を考えない事業であれば成立するものとする。

設問5 自然エリアを活用したツアーを商品化、事業化する場合の課題をご記入下さい。

◆テーマ

- ・体験型であっても商品化には努力がいきます。(旅行業)

◆自然環境への影響

- ・安全面と頻繁に実施することによる自然への負荷。(活動団体)

◆地域、各団体との連携

- ・たくさんの方が足を踏み入れることによって、住民の方が普段通り生活しにくくなることはもちろん、今回の地域にしても静かな里山の雰囲気がかわれそうな気がします。その為、10人以下のツアーにしたり、いろいろ制限が必要になりそうなので、商品化というか販売はなかなか難しいのかなと思いました。(旅行業)
- ・地域が資源として認識しているか、理解・協力を得られるか。(旅行業)
- ・今回のエクスカーションではお金を落とす場所がなかった。地域が主体的にエコツアーを行い、持続可能な形で、回すためには、多少でも地域にお金が落とす仕組みが必要と感じた。(行政)

◆行程

- ・天候に左右される内容になることが多いと思うので、代替案をどうするか、どの程度の悪天候なら行うかの判断。(旅行業)
- ・どの地点もツアー化できるが、季節・時間(ゆったりと)・課題を絞って見るだけでなく体験できる内容を加味する。(活動団体)
- できる内容を加味する

◆その他

- ・手数料や支払はクーポンで。(旅行業)
- ・募集時にツアー内容と魅力を十分に伝えられるか。(行政)

○まとめ

- ・地域への配慮や協力が得られるか、地域にとってのメリットについての意見が多い。
- ・また、何度も訪れることによる資源への影響や屋外中心のツアーによる人数の制限、天候への配慮等の意見もあった。

設問6 北摂・南丹エリア図の中に表示されている情報で、興味深い場所、対象はどこかご記入下さい。

- ・妙見山。(旅行業)
- ・酒蔵や温泉。(旅行業)
- ・武庫川溪谷。(旅行業)
- ・箕面、京都側。(企業)
- ・炭作りにより形成された自然環境。(活動団体)
- ・長谷の棚田。(行政)
- ・長谷の棚田、北摂の鉾山跡。(行政)

設問7 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題についてご記入ください

◆集客

- ・集客のための広報。(旅行業)
- ・集客方法。最小催行人数。対象に限られる。(旅行業)
- ・もともと地域の自然に興味を持っている人には集まりやすいが、そうでない人に参加してもらうことは難しい。(行政)
- ・ツアーの特色と魅力の伝え方。(行政)

◆地域、各団体との連携

- ・地域でのガイド役をどのように育てるか課題。(活動団体)
- ・自然への負荷と地元の協力が得られること。(活動団体)
- ・ガイドの育成。(行政)

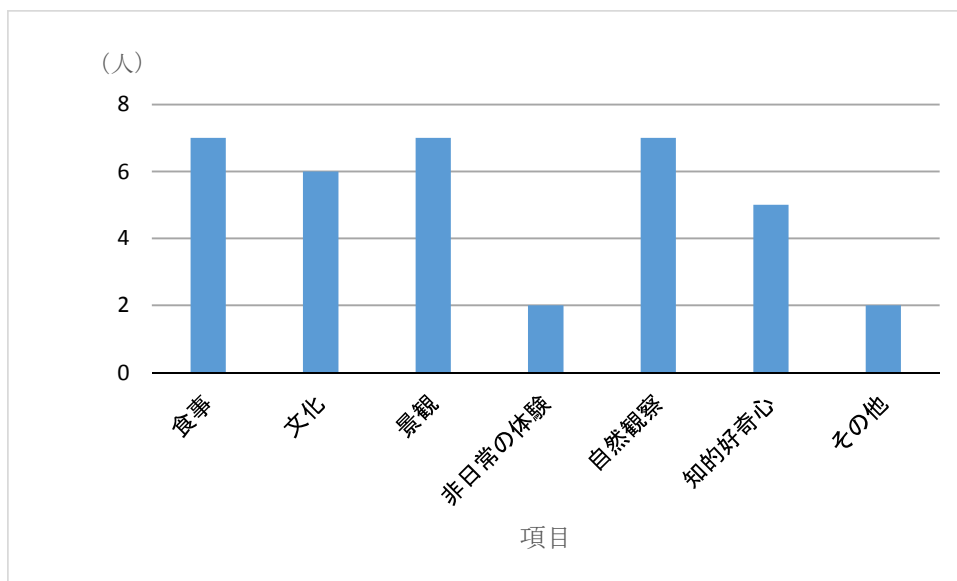
◆その他

- ・昼食は個々に弁当形式の方が良い。(旅行業)
- ・体験型か、ウォッチ型か目的を明白に。(旅行業)
- ・旅行代金の設定。(旅行業)
- ・個々の地点での参加者とガイドのディスカッションができる時間を保証することが、多様性の考え方を普及することにつながる。(保全活動団体)
- ・人の侵入による負荷。(行政)

○まとめ

- ・対象に限られるため、集客に課題があるという意見が多い。

設問8 エコツアーを実施する場合、こういった要素を重視しますか。該当するものを○で囲み、その理由についてご回答下さい。



◆食事

- ・旅行企画として行う場合、食事や景観はおさえると集客につながる。(旅行業)

◆文化

- ・その地域に特徴的な自然とそれにより形成された文化をまとめて知ることができ面白い。(行政)

◆非日常の体験

- ・旅行に求めているのは、やはり非日常であり癒しであるので、そういった体験は必須だと思います。(旅行業)

◆自然観察

- ・自然の恵みを味わえるツアー（自然観察やトレイル、トレッキングも良い）。(企業)

◆知的好奇心

- ・地域の自然環境とのかかわり。その暮らしに対する関心理解を深め、好きになってもらうファンを増やす。(旅行業)

◆その他

- ・解説者の資質。(活動団体)
- ・参加者が自然の大切さなどを学ぶことにより、自然を守る活動を行うような好循環の創出。(行政)

○まとめ

- ・幅広い意見が得られた。
- ・大きく分類すると旅行企画としての食事、景観、非日常の体験の要素と自然に触れ、自然について学ぶ要素についての意見であった。

設問9 自由記入欄の回答内容

- ・非常に勉強になった。商品化には協力できるかもしれない。(旅行業)
- ・なかなか足を運ばない地域でしたので、とても新鮮でした。特に、静かな里山の景観が印象的で、個人的にはまた自家用車できて、のんびり景色を楽しみたいと思います。(旅行業)
- ・和歌山県も自然豊かなところですが、地形や気候などの違いで、違った自然、里山が見られて新鮮でした。(旅行業)
- ・見学する事例を絞って、歩いて廻るようなコースも是非計画してほしい。(企業)
- ・地域産業と生物多様性の保全についての考え方が整理できたこと（保全活動）
- ・ツアーについては、テーマを多岐にせず参加者の層がそろいやすいようにすることでガイドの選定がし易くなる。ガイドは、専門家と地域の方とをペアにする。参加者が某かの体験が出来る内容を盛り込むとよい。(活動団体)
- ・シカの食害→外来種の侵入（ダンドボロギク・メリケンカルカヤ等）→多様性の喪失のサイクルをどのように断ち切るかがどの地点でも今後大きな問題になると思われる。(活動団体)

(アンケート結果の考察)

- 解説を受けやすい場所が重要（一庫公園など）。
- 一般的に使いやすい場所でないと旅行業の方からの評価は低くなる。
- 解説の評価も高いが、体験をもっと盛り込んだ方が良いという意見が多い。
- 普段は入れない、見られないという特別感が評価を受けていたが、保全、地域との兼ね合いなどがあり、課題が多い。
- 金額的には、5 千円～1 万円が多い。ガイドへの謝金や各費用から考えて、あまり利益はでない。
- 地域にお金が落とせる場所が必要。
- 地域への配慮、協力いただける体制づくりなどが重要。
- 解説者に対する評価が高い。各場所に受入れ可能な解説者が必要である。